

◆実施に伴う効果

- ・こちらで提案した事を受けて、学校独自に、文化祭での発表や吹奏楽部も参加しての手づくり太陽光パネル噴水の除幕式を企画するなど、この取り組みの内容の幅を広げていただいた。
- ・新聞に掲載されたことにより、学校へ問い合わせや視察があり、学校としても、参観日、公開研究事業研修等を利用し紹介して、広く啓発していただいている。
- ・来年度も、引き続き高校で「環境」をテーマとした取組を当会と一緒に進めていただけることとなり、「Ecoリーダー」を養成していく。

◆苦勞した点

- ・学校行事、クラブ活動等との関連で参加人数が計画より少なくなってしまった
- ・学校の日程を優先させた為、一般や会員の参加者も少なかった
- ・ろ過装置を取り付けたり、設置内容を看板で表現する予定だったが、支出が多くなり、実現できなかった。
表示については、学校の方で、作成者の名前等を銅板にエッチングしてくださるとのこと。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・講座の継続の希望は多いが、経費がかかり、当会単独での開催は、むずかしい。
市民や企業から、資金を公募していく方法などを検討していきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

生徒へのアンケート結果から、さまざまな環境問題が自分達のライフスタイルと密接につながっていること、1人1人が行動することの大切さ、自然エネルギーの重要性など、座学と実践を体験することによって、より深く理解でき、節電の実践に対する意識も高まったことが確認された。

また、新聞、地元テレビに取り上げられたことにより、一般の方にも、広く知られることとなり、多くの方に啓発できている。

学校独自の開催で、生徒達が原発の是非について話し合う討論会も開かれ、日本の社会として重要な課題である「エネルギー」について、関心を引き起こすことにつながったのではないかと。生徒達が自分自身の言葉で考え、また関連する技術について学び・体験する、時宜にかなったテーマを提供できた。今後も、子ども・若者が社会的課題に関心を持ち、自ら挑んでいく機会をつくっていきたい。